

講座名（専門科目名）	健康増進医学講座 行動健康医学	教授氏名	山本陵平
学生への指導方針	在学期間中に下記の技術を習得することを目指して、実践的な指導を行います。 ・疫学論文を批判的に読むことができる ・Stata や R を用いて生存解析モデルを作成し、コホート研究を行うことができる ・観察研究において介入効果を適切に評価することができる ・疫学研究論文を作成し、国際医学雑誌に投稿することができる さらに、研究データが実際に作られる現場（大阪府下の市町村）を見学することによって、自分が研究対象にしているデータは実際に生活している人々から収集されていることを体感し、自分が行っている疫学研究がどのような社会的意義を有しているかをじっくり考える機会を提供します。社会の中で疫学者として生きる意味を問いながら疫学研究に従事します。		
学生に対する要望	私達の研究室ではこんな仲間を募集しています ・社会において実際に役に立つ疫学研究にチャレンジしてみたい方 ・現場で活躍している保健師の皆さんと一緒に地域保健システムを構築してみたい方 ・大阪府下で提供されている医療の問題点を明らかにして、その解決策を考案してみたい方 ・健康アプリを開発して実際に社会実装してみたい方 ・人工知能を駆使して、医療ビッグデータ解析に挑戦してみたい方		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6850-6015 (Email) yamamoto.ryohei.ras@osaka-u.ac.jp	担 当 者	山本陵平
その他出願にあたっての注意事項等			

健康増進医学講座行動健康医学では、大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センターと共同で、下記の医療ビッグデータを利用したコホート研究等を行っています。医師、看護師等の医療系研究者と物理学者等のデータサイエンティストがそれぞれの得意技を駆使した共同研究を推進しています。

- ・大阪府の国民健康保険の被保険者 780 万人および後期高齢者医療制度の被保険者 170 万人の医療レセプト＋特定健診データ
- ・大阪府の後期高齢者歯科健診受診者 35 万人の医療レセプト＋歯科健診データ
- ・大阪府寝屋川市の国民健康保険と後期高齢者医療制度の被保険者 7 万人の医療レセプト＋特定健診データ
- ・大阪大学の学生 4 万人と教職員 2 万人の学生・職員健診データ
- ・大阪大学職員 1 万人のストレスチェックデータ

大阪府や寝屋川市の保健事業担当者と協力して、大阪府民の健康寿命延伸を目的とした医療保健システムの構築を目指しています。大阪大学の学生・職員の健診データを利用して、生活習慣病の発症における生活習慣（睡眠、食事、運動等）の重要性を次々に明らかにしています。

私たちの研究成果は、NHK 等でニュース報道されたり、読売新聞等にもたびたび掲載されており、社会的に注目される研究成果を次々に発表しています。近年では人工知能を利用した生活習慣病の発症予測アプリを開発し、大阪府の健活アプリ「アスマイル」に実装しました。最新の情報技術を駆使して、社会に還元できる疫学研究に積極的に取り組んでいます。

